

学習に困難のある子どもの ICT利活用

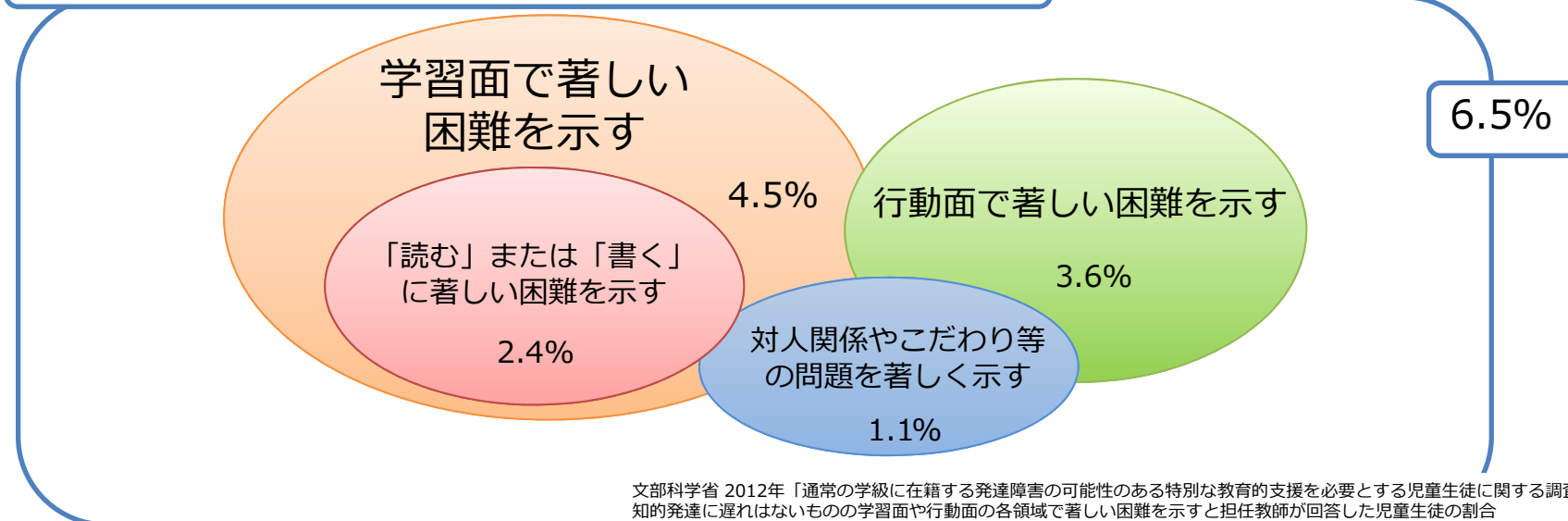
日本マイクロソフト株式会社プリンシパルアドバイザー

大島 友子

学習に困難のある子どものICT利活用

- 特別支援学校・特別支援学級以外にも、多くの「学習をする際に困難のある子ども」が存在
- 多くが支援を受けられていない
- ICTが有効な支援ツールになることも

通常学級に在籍する全国の発達障害と思われる小中学生



文部科学省 2012年「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」より
知的発達に遅れはないものの学習面や行動面の各領域で著しい困難を示すと担任教師が回答した児童生徒の割合

ICTでの支援

【読むことの困難】

読み飛ばしをしてしまう、文末を勝手に作ってしまう

- 録音・音声合成による読み上げ
- ハイライト表示、行間・文字間の調整、読むところだけを表示する
- 紙の情報のテキスト化

【書くことの困難】

時間内に板書を写すことができない、鉛筆での筆記が難しい

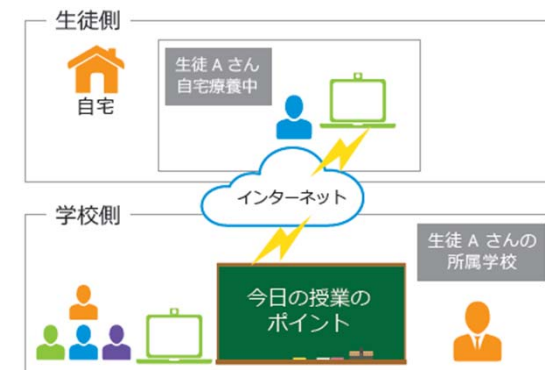
- 困難にあったスイッチを活用
- ノートテンプレートの活用
- 予測入力を書く負担を減らす

【移動の困難】

- 遠隔授業・遠隔交流
- 録画された授業で学習

【見ること・聞くことの困難】

- 拡大・縮小
- 録音・音声合成による読み上げ
- 色変換
- 音声認識で音声をテキスト化



合理的配慮 (Reasonable Accommodation)

- 障害者差別解消法
 - 2013年6月制定、2016年4月施行
 - 「合理的配慮」を提供しないことは「差別」とされる
- 国連障害者権利条約での定義
 - 必要かつ適当な変更及び調整であって、
特定の場合において必要とされるものであり、かつ
均衡を失した又は過度の負担を課さないもの

下駄を履かせるわけではなく、土俵を等しくする便宜
フェアな勝負 = 合理的配慮付きの競争

- ICT の利活用が大きな役割を果たす
- 本質的な学びの実現を目指す
- Windows クラスルーム協議会
「合理的配慮へのICT活用推進プロジェクト」

関連情報

- 読むこと・書くことが苦手な子どもの指導と支援チャート「そうか！」チャート
 - チャートに沿って進むと具体的な手だてを提案
 - デジタル、アナログ両方の教材、ツール、使い方も紹介
 - <http://www.microsoft.com/ja-jp/enable/dyslexia>
- AccessReading
 - 教科書・教材、書籍の電子データをdocx、EPUB3の形式で提供
 - 障碍により印刷物を読むことが難しい人に向けた無償サービス
<http://accessreading.org/>
- 登校困難な生徒を支援する「遠隔授業サポートシステム」
 - 教育機関には「Skype for Business Online」を無償提供
 - サポートマニュアルも提供中
 - <http://www.microsoft.com/ja-jp/education/enkaku/default.aspx>
- 学習における困難を支援する「ICT活用ガイド」
 - 困難別にICTでの手だてを紹介
 - 実際の活用事例も紹介
 - <http://www.microsoft.com/ja-jp/enable/study>

